

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年11月 | [メイン](#) | 2008年1月 »

2007-12-28

## 今年も残すところ・・・

2007年もあと3日を残すのみとなりました。

連山や斜里岳、海別岳などの山々は真っ白になりましたが、斜里の街は思ったより雪が少なく、センター周辺ではまだ、アスファルトや土が見えています。



当センターは、今日が「御用納め」ですので、今年の営業？は本日で終了いたします。今年、センターで開催した様々なイベントに参加していただいた方々やセンター業務にいろいろな形で協力いただいた方々に厚く御

礼申し上げます。

2008年は、1月4日から営業開始いたしますので引き続きよろしくお願いたします。さっそく、1月12日（土）には、冬休み企画「ネイチャークラフト体験」を開催しますので、是非皆様のご参加をお待ちしています。

投稿日 2007-12-28 | [リンク用URL](#)

2007-12-27

## 防鹿柵完成！

今年もあと4日で終わろうとしています。ウトロでは前のこのブログで紹介しました。防鹿柵が完成しました。今年は雪が少なかったことで、何とか年内に完成することができ一安心です。



知床ではオオワシも南下し、みられるようになってきました。寒さも一段と厳しくなり、

これから冬本番です。

投稿日 2007-12-27 | [リンク用URL](#)

2007-12-04

## 雪が降りました

日に日に寒さ厳しくなり、今朝は、斜里町で雪が降り、いよいよ冬本番を迎えました。そんな中、ウトロのイチイ遺伝資源保存林では、鹿による樹皮食害を防ぐための防鹿柵の設置工事が始まりました。



冬は鹿にとって草や木の実などの食べ物が無くなることから、木の皮を食料とします。近年、シカの増加と共に、樹皮の食害も増え、多くの樹木が枯れている状況で、イチイ

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

の遺伝資源保存林も多くの木が被害を受け若芽も食べられ後継樹も育たない状況となっています。そこで、防鹿柵を設置し、貴重なイチイを鹿から守っていきます。

---

投稿日 2007-12-04 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年10月 | [メイン](#) | 2007年12月 »

2007-11-29

## 冬支度

知床横断道路が冬期の通行止めに入り、半月余りが経過しました。



当センター前にあるカラマツやイタヤカエデの木は、いつの間にか葉が全部落ち、冬支度が整いました。

今朝、斜里町では晴れたこともあって、今期一番の最低気温となりました。

なぜ晴れているのに寒くなるのでしょうか？

それは放射冷却で地表の熱が大気に放射しているためで、晴れているとさえぎるものが無く、熱は宇宙空間まで逃げてしまうため、地表の温度は下がるということです。

これからは本格的な冬が訪れ、さらに寒さも厳しくなることでしょう。

投稿日 2007-11-29 | [リンク用URL](#)

2007-11-12

## クリスマスリースを作ってみませんか！



山々に雪が積もりはじめ、ここ知床にもいよいよ冬がやってきます。

森林センターでは冬のイベント第一弾！として、「第70回森とのふれあい・森の恵みを使ってクリスマスリース作り」を11月18日

(日)に開催します。毎年好評のこのイベントでは、自然のトドマツの葉や松ぼっくりなどを使って、ボリュームあふれる豪華なリースを手作りします。

本日は見本のリースを作りましたが、今年はトドマツの葉の艶も良く我ながら立派なリースができあがりました。

手作りとあって愛着の湧くこと間違いなしのリース。皆さんもオリジナルリースを作ってみませんか？

※現在、「道の駅 しゃり」に見本のリースを飾っていますのでお近くの方は是非ご覧下さい！

投稿日 2007-11-12 | [リンク用URL](#)

2007-11-01

## ご静聴ありがとうございました。

本日、斜里町教育委員会が開設している「斜里町生きがい大学」に講師として招かれました。少し緊張しながら会場に入ったところ、受講生の方々が約130名もおり、みなさんの真剣なまなざしに更に緊張の度合いが増しました。講義が始まると、

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

みなさんが熱心に聞いてくださり、話すこちらも力が入り予定時間をオーバーしてしまいました。最後には、地元斜里町の森林を充分理解された質問もあり、森林・林業・木材の役割・重要性、知床の森林の特殊性、知床森林センターの業務紹介が伝えられたと思います。



「生きがい大学」：斜里町教育委員会が65歳以上の町民を対象に高齢者学級として開設しているもので、高齢者の生きがいづくりを目指して実施しているものです。

---

投稿日 2007-11-01 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年9月 | [メイン](#) | 2007年11月 »

2007-10-30

## 色あざやか！！



11月3日（土）に知床森林センターで「森の恵みで草木染め」を実施します。今日は、イベント当日に使う草木の色を見るため、色あわせを行いました。

材料として街路樹などとして植栽されているナナカマドの実やハマナスの実を使い、材料の分量や水の量などを確認しながらハンカチを染めましたが、実の色と出来あがったハンカチの色を見くらべるとびっくり！隠れもった自然の色に驚嘆。

イベント当日は、ナナカマドの実、ハマナスの実のほかキハダの樹皮などを予定しています。何色に染まるかは、イベント当日のおたのしみ！

なお、イベントに参加されたい方は、11月1日までにお電話ください。（応募者が多い場合は抽選）

投稿日 2007-10-30 | [リンク用URL](#)

2007-10-22

## お待たせしました。

10/2のブログにある樹木の葉と種を組み合わせるクイズの正解を発表します。



- A: ミズナラ  
B: オオバボダイジュ  
C: ホオノキ

でした。皆さんおわかりでしたでしょうか？

Bのオオバボダイジュが難しかったのではないのでしょうか？近似種のシナノキも同じようなタネの形をしています。

ボダイジュ（菩提樹）というと「釈迦が悟りを開いた木？」とお思いの方もいらっしゃるのでは。その聖木はクワ科のインドボダイジュという木だそうで、日本でいうボダイジュとは全くの別種だそうです。むかし中国でインドボダイジュに葉の形が似たシナノキ科の木をボダイジュの代用品として寺院に植え、



日本にもたらされたそうです。

投稿日 2007-10-22 | [リンク用URL](#)

2007-10-05

## 知床にもやっと

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

昨日、調査でウトロに行くとき知床の山々が赤や黄色に色づいてきていました。

今年は例年より紅葉がやや遅いようです。

今週末はちょうど綺麗な紅葉が見られそうです。

月曜日は体育の日で連休になるので、知床へ足を運んでみてはいかがでしょうか？



↓の画像は羅臼岳です。

投稿日 2007-10-05 | リンク用URL

2007-10-03

## 知床の森で野鳥気分を満喫

ツリーイング（木登り体験）をしてきました。以前から「やってみたい！」と思っていたので、ウキウキしながら現地に到着。

ミズナラの大木の枝に掛けられたロープは、思いの他高い位置にあり、「ホントにこのロープを使って簡単に人が木に登れるの？」と段々不安になってきた私…。

インストラクターの先生から、木や自然との接し方や登り方などを説明していただいた



後、ハーネスなどの道具をつけて、いざ挑戦！

空中に体が浮いている感覚を楽しみながらゆっくりと登っていくうちにコツを覚え、気づいてみると10メートル以上も登ってしま

した。木の上から見る景色は最高～!!心地よい風を感じながら、時間が経つのを忘れリラックス。とても癒されました。ツリーイングを体験する価値は大あります。皆さんもやってみませんか？

なんと10月14日（日）に、当センターでツリーイングを体験できるイベントを開催します!!このブログを読んで興味を持ったあなた、是非私達と一緒にツリーイングを楽しみませんか？

イベントの詳細は下記URLをクリック！

↓↓↓

<http://www.shiretoko.go.jp/event/H19/yotei/86treeing/86tre>

※参加希望の方は、知床森林センターまでご連絡下さい。

投稿日 2007-10-03 | リンク用URL

2007-10-02

## 知床で恒例のあのイベント・・・

秋空の9月30日、知床・斜里にある“みどり工房しゃり”で「第28回しれとこ産業まつり」が開催されました。食欲の秋



を満喫できるとあって、会場はたくさんのお客さまでにぎわいました。

今年も知床森林センターでは、ブースを出展。お客さまには、木の葉と種を組み合わせるクイズ、種模型飛ばし、丸太切り、火おこしを体験していただきました。

私の担当は「クイズ」。A・B・Cの三種類の葉っぱの種（実）をア～オの五種類の種の中から選ぶクイズです。

葉と種は、イベント前に山へ行き探してきました。山の木々は今、紅葉・落葉を前に種をつける季節、たくさんの実や種がありました。

クイズに挑戦したお客さまのほとんどが、「Aはどんぐり！Cはホオノキ？、Bは...全然わからない。」との声。

さあ皆さん、下の画像を見て、クイズの答えがおわかりでしょうか？

※正解は、次々回のブログの中でご紹介...?



---

投稿日 2007-10-02 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年8月 | [メイン](#) | 2007年10月 »

2007-09-21

## 知床はまだ...

「紅葉前線」って聞いたことがありますか？

「桜前線」はみなさんご存じでしょうが、紅葉にも「紅葉前線」というものがあります。

桜前線は南から北上するのに対し、紅葉前線は大雪山から始まり南下していきます。

こないだテレビで大雪山は紅葉がピークとやっていました。

まだ知床まで紅葉前線は来てないようです。山の木々は青々としています。（下の画像は岩尾別）



紅葉が進行する条件として、最低気温が8度以下の日が続くと色づき始め、そして、最低気温が5度以下になると一気に紅葉が進みます。

す。

しかし、綺麗な紅葉になるには最低気温に加え、昼夜の気温の差が大きいくこと、日照時間が短いこと、乾燥していることなどが必要なのです。

このような条件のそろった紅葉の名所には山岳地が多いようです。

今日の斜里町は徐々に気温が上がり夏日になったので、これで夜の気温がぐっと下がれば、今年は綺麗な紅葉が見られるかも知れませんね。

投稿日 2007-09-21 | [リンク用URL](#)

2007-09-09

## 今年もまた...

お盆が過ぎ、気温がぐっと下がり初秋を迎えました。

知床森林センターでは、平成元年より継続して毎年行っているドングリの結実調査（H

P : <http://www.shiretoko.go.jp/gyoumu/cyousa/donguri/donguri>）を行うためトラップを設置してきました。

ドングリは知床を代表する樹木であるミズナラの種で、様々な野生動物の重要な食料になっています。

そのドングリですが、樹木自体に種子の散布器官（種を遠くに運ぶ等）がなく昔の人は童謡に「♪ドングリころころ～」とあるように重力散布（ただ落ちて転がる）だと思っていました。しかし、ドングリは上記に述べたように野生動物の食料となり、その中でネズミ類やリス類、カケスなどは、冬ごもりのため地中に貯蔵します。そのうち忘れられたものや食べられなく

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生動物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

残ったものが発芽して増える動物散布でした。  
動物が埋める深さが、発芽に適した深さであり、その上、種子を乾燥から守っているそうです。

このドングリですが、結実習性については未知の部分が多く、豊凶の差が大きいため、長期間の調査を行うことにより法則性や法則性が無くとも豊凶が事前にわかる方法などを調べています。

去年は並作でした。近年は豊作がないことから、今年はそろそろ豊作がくるかもしれません。



---

投稿日 2007-09-09 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年7月 | [メイン](#) | 2007年9月 »

2007-08-31

## ツタウルシ

下の2枚の写真は別々の植物のように見えますが、同じツタウルシという植物です。ツタウルシの葉は、若木の時には粗い鋸歯があるのですが、成長するにつれ全縁になるため、様々な形をしています。個性豊かなかわいらしい三つ葉の葉っぱが、ツタウルシの特徴です。

ところがこのかわいらしい見た目は裏腹に、ウルシ科の一種であるツタウルシは非常に強い「かぶれ」の原因となる植物の代表です。樹液の主成分であるウルシオールという物質がアレルギー性皮膚炎の原因となるからです。ツタウルシの場合、直接触らなくても近くに寄っただけでかぶれる場合もあるそうですから、注意が必要です。

知床の森林で、ウルシはいち早く、鮮やかな赤色に紅葉します。それはとても美しい光景ですが、うっかり触らないように気をつけてくださいね！



投稿日 2007-08-31 | [リンク用URL](#)

2007-08-27

## 「木のお医者さん」をご存知ですか？



一見元気そうに見えるこのハルニレの木ですが、現在幹に空いた穴を塞ぐ治療を受けている最中です。

このように傷ついてしまった木の治療を行う技術者が樹木医、つまり木のお医者さんです。

す。

このハルニレのように何らかの原因で幹に穴が空くと、樹木は自らの力でその傷を治そうと徐々に樹皮を伸ばしていきます。ところがそのまま放っておくと空洞の中に向かって樹皮が伸びていってしまうため、穴がなかなかふさがりません。そこで、空洞の中に詰め物を入れてやり、樹木がつめものに沿って樹皮を伸ばすことにより穴を塞ぐことができるように誘導しているのです。このように、傷ついた木や病気の木が回復するのを手助けしてやったり、病気の原因を取り除いてやるのが樹木医の仕事です。

普通、樹木医が治療を行うのは、町や学校などにある木だけですが、森林のなかにも傷ついた木、病気の木などが意外とたくさんあるものです。それらの木がそれでも必死で生きようとしている姿を見ると、生命の力強さを感じずにはいられません。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

プロフィール

知床森林センターでは、9月9日に網走管内唯一の樹木医の先生と共に森林を歩きながら樹病について学ぶ「知床の森を『木のお医者さん』と一緒に歩いてみよう!」というイベントを企画しています。

この機会に、一緒に樹病について学んでみませんか？

イベントの詳細は下記URLをクリック！

↓↓↓

<http://www.shiretoko.go.jp/event/H19/yotei/85jumokui/85ju.htm>

---

投稿日 2007-08-27 | リンク用URL

---

2007-08-15

## 倒木更新

針広混交林の森の中で、一列に整列して生えているトドマツがありました。

おそらく、これは「**倒木更新**」で世代交代したトドマツです。

「**倒木更新**」とは…。簡単にいうと、倒れた木の上に種が落ち、発芽して、その稚樹が成長することです。

なぜ、稚樹は倒木の上で成長するのでしょうか？

1. 倒木によって、下草や笹が押しつぶされ、光が当たり明るい。
  2. 倒木の腐敗が進むにつれスポンジ状に柔らかくなり、苔とともに水分を保持し適度な水分がある。
  3. 倒木の上には、稚樹の成長を妨げる病菌が少ない。
- 等により、腐れた倒木の上は稚樹の成長にとって好条件なのです。

自然豊かな森に行く機会がありましたら、注意深く観察してみてください。

**倒木更新**と思われる、一直線に生えている木々を目にするかもしれません。



---

投稿日 2007-08-15 | リンク用URL

---

2007-08-08

## 結構切れ込んでます

木を見分ける際に、葉っぱの形も特徴の一つとなります。丸かったり、とんがっていたり、モミジのように手の形をしていたり…。

形でいえば、ヤマグワもかなり個性的です。写真（左）をみると、葉っぱの内側に大きな切れ込みが入っているのがわかります。全部が全部ではありませんが、このような切れ込みが不規



則に、複数入っているのがヤマゲワの特徴です。

蚕（カイコ）の餌になることでも知られていますね。写真（右）には赤や熟した黒い実が見られます。甘くておいしいので狙っている人も多いかもかもしれません。



投稿日 2007-08-08 | [リンク用URL](#)

2007-08-01

## 夏のポンホロ沼

昨日、知床自然観察教育林の巡視に行ってきました。6月のイベントで訪れたポンホロ沼のある場所に行ってみると、辺り一面、芝生を敷き詰めた広場のような光景が広がり、沼の姿が見あたりません。一体ポンホロ沼はどこへ・・・？

草原を歩いていると、発見しました！一月半前、豊富な水をたたえ、水面に逆さ羅白岳を映し出していたポンホロ沼は、写真のような小さな小さな水たまりへと姿を変えていました。

ポンホロ沼は、雪融けの水がたまってできるため、春から初夏の短い期間しか見ることはできません。夏以降は、沼の跡地にヒメシダを中心とする草原が広がります。それは、遠巻きに見ると芝生を敷き詰めたかのようにも見え、ちょっと不思議な光景です。

暑い日が続いています。まもなくこの小さくなったポンホロ沼も干上がってしまうでしょう。短い期間しか見ることはできないため、「幻の沼」とも呼ばれているポンホロ沼。今年見逃してしまったあなたは、来年の春をお楽しみに！

\*左が昨日、右が6月中旬に撮った写真です。見比べてみてください\*



投稿日 2007-08-01 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年6月 | [メイン](#) | 2007年8月 »

2007-07-20

## 霧の羅臼湖

霧の...、といえば摩周湖が知られていますが、ここ羅臼湖もよく霧がたちこめる場所です。センター職員の中にも、何度か足を運んだのに未だに湖全景を見ることが出来ていない者もいるぐらいです。

昨日は第83回レクリエーションin知床の開催日。往路は快晴だったのですが、羅臼湖についた時点で霧が濃くなり、帰り道には視界不良の中での散策となりました。山の天気の変化の激しさを感じてもらいつつ、行きと帰りで違った雰囲気羅臼湖を楽しんで頂けたのではないのでしょうか（写真は羅臼湖を覆う霧。正面は知西別岳です）。



投稿日 2007-07-20 | [リンク用URL](#)

2007-07-11

## これから咲くんです

写真は羅臼湖へ至る散策路上のウラジロナナカマド。標高は約700m地点。花はまだつぼみです。

街路樹でよく見るナナカマドの仲間ですが、高山帯に生育しており、樹高も2mほど。葉っぱが丸っこくて、鋸歯（葉っぱの周りのギザギザ）が上半分のみ、という点が特徴です。

センター向かいのナナカマドはもう花も散らして実がなりつつあるというのに、下界との時間差はかなりのもの。7月も半ばだというのに、もう一度春を楽しめそうです。



投稿日 2007-07-11 | [リンク用URL](#)

2007-07-05

## 絶景...

本日は、7月19日及び26日に“森林レクリエーションin知床「可憐な花を求めて神秘の羅臼に行こう」”を実施するため、羅臼湖までの下見に行ってきました。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

今日の天気はすばらしく三の沼から見る羅臼岳は雄大で美しく知床を代表する山だと思いました。しかし、一方では、歩道は一部雪が残っていることに加え、その雪解け水で道が悪くなっている箇所がいくつかあって、長靴が必要だと感じました。イベント当日は参加者の皆様が、安全で歩けることに心がけ、知床の原始的な自然に触れ、この雄大な羅臼岳が眺望できることを祈っているかぎりです。

19日のイベント参加は本日締め切ってしまいましたが、26日の締め切り日は12日となっていますので、羅臼湖に関心のある方はふるって応募してください。

(なお、定員を超える応募があった場合は、抽選とさせていただきます。)



投稿日 2007-07-05 | [リンク用URL](#)

2007-07-02

## 安全祈願！

6月24日(日)の斜里岳に続き、昨日7月1日(日)に知床で一番高い山、羅臼岳の山開き安全祈願祭が行われました。実は両日ともあいにくの天候で、その間も「えぞ梅雨」と思えるような曇天、小雨、低温が続く1週間でした。昨日も山頂に向かう人はまばら。それでも今日は久々スカッと晴れ渡る快晴となりました。

これからは高山植物も花盛りになる季節、いよいよ知床も夏山シーズン本番です。ですが、登山道には雪渓も残り、天候の変化やクマの出没にも注意が必要です。登山される方は十分な準備と装備を心がけて楽しんでください。

(写真：左は羅臼岳山開きの模様、右は今日の斜里岳)



投稿日 2007-07-02 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年5月 | [メイン](#) | 2007年7月 »

2007-06-29

## ハマナス

今、以久科原生花園ではハマナスの鮮やかな濃いピンク色の花が咲いています。

ハマナスは、この時期の北海道の海岸砂丘でよく見られる花です。

「ハマナス」の名前は、その実を浜の梨に見たてて「ハマナシ（浜梨）」と呼んでいたのがなまったものといわれています。この花には、においがあり香水の原料として使われているとのこと。

赤熟した果実は、ビタミンCを多く含み、そのまま食べたりジャムなどにしたりするそうです。

※ハマナスの実が、ローズヒップの仲間であることを初めて知りました。

ローズヒップティー愛飲家の私は、ハマナスに親近感がわきました。



投稿日 2007-06-29 | [リンク用URL](#)

2007-06-21

## 触ってみたくなる木

この時期、林内を歩いているとフワフワと白いものが舞ってきます。柔らかくて、触り心地はまるで綿のよう。この正体は一体何でしょうか？

答えはエゾノバッコヤナギの綿毛です。種子の根本のついたこの綿毛は柳絮(リュウジョ)と呼ばれます。バッコヤナギの雌木は、この綿毛を風に乗せ、種子を遠くまで飛ばします。センター庁舎近くでも、真っ白な綿毛を身にまとったエゾノバッコヤナギを見つけました。

雪融けの頃にはビロードのような感触の銀色の冬芽を出すエゾノバッコヤナギ。(→3月15日の日記参照)

[http://shiretoko.no-blog.jp/shiretoko/2007/03/post\\_f5d7.html](http://shiretoko.no-blog.jp/shiretoko/2007/03/post_f5d7.html)

初夏には綿毛、春にはビロードと季節によって様々な感触を楽しませてくれる「触ってみたくなる木」です。

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)



投稿日 2007-06-21 | [リンク用URL](#)

2007-06-14

## 炭焼き（後編）

6月17日のイベント「世界自然遺産・知床の森で幻の沼を発見しよう」で行う炭焼きの練習2日目。今日は昨日火をつけた窯のふたを開けてみました。

炭焼き出来は、ふたを開けるまでわかりません。さあ、うまくできているでしょうか？

緊張しながらふたを開けましたが・・・

結果は写真のような炭ができあがりました。上手くできると、炭窯一杯に詰めた原木は、3分の1くらいの量になるといわれています。写真では少しわかりにくいですが、なかなかの上出来ではないでしょうか。原木にはミズナラを使用したため、固くて火の長持ちする良い炭ができているはずです。

木を燃やしたときに出る二酸化炭素は、樹木が光合成を行うときに大気中から吸収したものです。そのため、炭などの木材は燃やしても温暖化の原因となる二酸化炭素の量を増加させない、エコロジカルな燃料であるといわれています。イベントでは炭焼きを通して、木材と地球温暖化の関係についても考えてもらうことができれば、と思います。



投稿日 2007-06-14 | [リンク用URL](#)

2007-06-13

## 炭焼き（前編）

6月17日に行われる当センター主催のイベント「世界自然遺産・知床の森で幻の沼を発見しよう」では、午前中に炭焼きの体験をして頂く予定です。今日はイベントへ向け、職員で炭焼きの練習を行いました。

炭焼きは待ち時間の長い、根気のいる作業です。

まず、炭窯の中に材料となる原木を詰め、薪（たきぎ）に火をつけます。そして団扇で扇ぎ続けること30分、原木に完全に火が移ったらしばらく休憩です。待つこと数時間、今度は窯の中の木の燃え具合にあわせて、ふたを閉じたり、窯に泥を塗ったりして、窯の中の空気の量を調節します。調節のタイミングは、煙突から出る煙の色を見て判断します。煙突から出てくる煙は、原木中のどんな成分が燃えているかによって黄色～青～透明と変化するからです。この、煙を見て空気の量を調節するタイミングこそが、良い炭ができるかどうかの最大のポイントであり、また最も難しいところでもあります。

煙が完全に透明になったら、泥を塗って窯を完全に密閉して、今日の作業は終了です。あとは一晩放置し、窯の中の火が自然



に消えるのを待つだけです。さてどんな炭ができるでしょうか・・・。続きは明日のお楽しみです。



投稿日 2007-06-13 | [リンク用URL](#)

2007-06-12

## ナナカマド

今、センター前の道路沿いには、ナナカマドの白い小さい花が固まりになって咲いています。

この木の名前の由来を調べてみると、

1 幹が燃えにくく、7度かまどに入れても焼け残る  
2 7日（7度）かまどにかけてじっくり炭化し、良質の炭ができる  
など、いくつかの由来があるそうです。いずれにしろ、とつても幹の硬い木ということということでしょうか。

花言葉は「慎重・用心・安心」ということで、「交通安全」とかけて、街路樹として植えられているようです。皆さま、ナナカマドの白い花に見とれることなく、安全運転をお願いします！



投稿日 2007-06-12 | [リンク用URL](#)

2007-06-08

## ハリギリ

一頃の低温続きが嘘だったように、ここ最近のオホーツク海はいい天気が続いています。気温も上がり、山も新緑が眩しくなってきました。

センター近くの山でハリギリの若葉を見つけました。ハリギリは枝や幼樹の幹にトゲがあることと、桐に葉の形が似ていることから名付けられています（写真でもトゲが確認できますね）。別名「セン」とも呼ばれ、知床ではミズナラとともに大木になる落葉広葉樹です。

今はかわいらしいサイズですが、大きく広がると天狗のうちのうのように大きな葉っぱになります。大木になると幹に縦の深い裂け目が刻まれ、なかなか迫力のある樹でもあります。是非間近で見てもらいたい、そんな樹の一つです。



投稿日 2007-06-08 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年4月 | [メイン](#) | 2007年6月 »

2007-05-31

## チャームポイントは背中の中の縞模様？

枯れ木の枝の上に、背中にくっきり5本の縞模様がチャームポイント「エゾシマリス」がいました。

日本には、シベリアシマリスの亜種、エゾシマリスとチョウセンシマリスがあり、エゾシマリスは北海道のみに分布し、チョウセンシマリスはペットとして大陸から持ち込まれたそうです。

写真のエゾシマリスは、私達の気配に警戒してか、周りをキョロキョロ見ながら、後ろ足で器用に耳をかいていました。

約半年の長い冬眠から目覚めたエゾシマリスたちは、今繁殖の季節をむかえています。



投稿日 2007-05-31 | [リンク用URL](#)

2007-05-28

## また白く...

ここ最近では低温続きのオホーツク海側です。

本州以南では各地で真夏日を記録しているというのに、今朝、知床の一部では雪景色となりました。

「また雪が降りました」というこの話題、たびたび取り上げていますがまさか6月を目の前にしてお伝えすることになるとは思いませんでした。

週間天気予報によると、今週は一応、最高気温は2桁で推移するようで、少しは寒さは和らぐようです。

路面凍結の恐れから通行止めとなっていた知床横断道路※も今日の午前11時から開通しました。

新芽を出した木々も寒々しく見えました。早く春らしい暖かさを満喫したいと思っているのは人間だけではないように感じました。

(※知床横断道路は5月28日現在、開通時間は9:00~16:30となっており、夜間は通行止めとなっています。)



2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

投稿日 2007-05-28 | [リンク用URL](#)

2007-05-21

## 3づくし

3つの葉、3つのがくに3つの大きな白い花弁。オオバナノエンレイソウが咲いています。

‘3’づくしのこの花の学名Trilliumが「3を基数としたユリ」を意味しているように、雄しべも3の倍数の6本と、各器官も3が基数になっています。

オオバナノエンレイソウは北海道大学の校章のデザインにもなっており、北海道ではなじみの深い植物です。芽が出てから花を咲かせるまでじつに10～15年もかかり、その寿命は長いものではなんと50年もあるといえます。今、見ている花は少なくとも10歳以上...、そう考えると、太くまっすぐ伸びた茎、大きく咲いた白い花にたくましい人生を感じずにはられません。



投稿日 2007-05-21 | [リンク用URL](#)

2007-05-11

## 白さが際立ちます

昨日知床横断道路も開通し、徐々に春めいてきました。

峠付近はまだまだですが、海沿いの標高が低い場所から、徐々にカラフルさを増してきています。

そんななか、白い花をたくさんつけた樹木がひととき目立つました。

その木の名前はキタコブシ。雪解けの時期に真っ先に咲く花として知られています。

その咲くタイミングから農作業の目安としても使われていたとのこと。

写真はうまく撮れていませんが、是非皆さんその目で際立つ白さを見に来てください。今だけです！



投稿日 2007-05-11 | [リンク用URL](#)

2007-05-09

## 春のいぶき

当センター内にあるカラマツの木が長い冬を越し、新緑を勢い



よく出し始めました。

カラマツは針葉樹の仲間ですが、針葉樹の多く（トドマツ、エゾマツ等）が、常に葉を茂らせる常緑針葉樹であるのに対し、このカラマツは秋には葉を落とします。実は、我が国に自生する唯一の落葉針葉樹なのです。

このカラマツ、実は道内には元々自生しておらず、成長が早く寒冷地にも適しているということで本州から持ってきて植えられた移入樹種なのです。

今では、畑の防風林としてもおなじみのカラマツ。すっかり北海道の風景に馴染んでいます。



---

投稿日 2007-05-09 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年3月 | [メイン](#) | 2007年5月 »

2007-04-27

## 春めいてきたのに...

最近、春めいてきて雪もやっと融けたと思っていたら...昨夜、雨が雪に変わり冬景色に逆戻りしました。沖縄の海水浴場ではすでに海開きを迎えているというのに...

大型連休を前に知床を訪れる観光客の方もびっくりされるのではないのでしょうか？

平地でこの雪ですから山の上ではもっと降っていることでしょう。連休前に開通すると思われていた知床横断道路ですが、どうやら開通は延期になりそうです。



投稿日 2007-04-27 | [リンク用URL](#)

2007-04-20

## クロテン発見

ウトロのイチイの森で、春の陽気に誘われ、愛らしい小動物「クロテン」が姿を現しました。

テンは、一心不乱に食事中。人が近づいても全く動きません。何を食べているのか気になり近づいてみると、「シカの死がい」でした...

クロテンは、明治時代に毛皮目的で乱獲され数が減少。そのため、北海道では保護獣に指定されているそうです。今では、主に道東側に生息しているそうですが、はっきりした分布や生息数については、情報不足でわかっていないようです。貴重な動物なので、絶滅しないように見守っていきましょう。

ちなみに、エゾシカの死体はヒグマが餌付いている可能性があり、絶対に近づいてはいけません!!!



投稿日 2007-04-20 | [リンク用URL](#)

2007-04-17

## 満開

知床の森林の色は**褐色系**で、まだ少し残雪がありますが、

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

そんな中で、(地味に) 咲く木を見つけました。  
ケヤマハンノキです。  
下の写真、満開の様子なんですよ。

花というと、白や赤、黄色等をイメージしますが、  
ケヤマハンノキのヒモ状の雄花は、枝と同じ茶色なんです。

森林の木々の中では、先頭をきって花を咲かせ春の訪れを知らせてくれます。



投稿日 2007-04-17 | [リンク用URL](#)

2007-04-13

## フキノトウ

4月になり、すっかり雪の融けた地面からは、たくさんのフキノトウが顔を出しています。  
山菜料理として食卓でもおなじみのフキノトウ。ところでフキノトウって一体何でしょうか？

正解は「フキ」の花です。フキは雌雄異株の多年生植物で、雄花は黄白色、雌花は白色をしています。早春、葉の出る前に花茎を伸ばして蕾をつけますが、これがフキノトウです。北海道では、一般的にアキタブキ(別名エゾブキ)という種類のフキが見られます。

ちなみにフキの茎は地上に伸びるのではなく、地下に向かって伸びています。私たちが食べている長くて穴の開いた「フキ」は茎ではなく、葉と茎をつなぐ部分である葉柄になります。

淡い黄色や白色のフキノトウは、雪が融けたばかりで色の少ない風景に春の彩りを与えてくれています。その風景を見ていると、これからやってくる色鮮やかな植物の季節が楽しみになります。



投稿日 2007-04-13 | [リンク用URL](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年2月 | [メイン](#) | 2007年4月 »

2007-03-29

## 雪融け進む

センター2階からの風景です。ここ数日、斜里も好天が続き、抜けるような青空が爽やかを感じさせます。

気温も上がり、真っ白だった海別岳も、尾根部分から徐々に山肌を見せ始めています。流氷も去り、海明けが宣言され、知床横断道路も4月下旬の開通を目指して除雪が始まっています。

これからはこのブログでも木々の芽吹きをお伝えして、春の訪れをお知らせしたいと思っています。



投稿日 2007-03-29 | [リンク用URL](#)

2007-03-23

## 流氷、再び

ここしばらく遥か沖へと遠ざかっていた流氷。このまま北へと帰って行ってしまおうかと思いましたが、知床半島付近では再び流氷が接岸しました。北寄りの風が続いたことが影響したのでしょうか。

今日の流氷の密度は真冬ほど高くなく、ところどころ海面が顔をのぞかせていました。流氷というと 厳冬の象徴のように感じますが、今日の流氷は確実に春がそこまで近づいていることを感じさせるような、そんな流氷でした。



投稿日 2007-03-23 | [リンク用URL](#)

2007-03-16

## 受賞おめでとう！

当センターでは、1月に「冬休み親子木工体験」というイベントを開催しました。先日、そのイベントに参加した小学生から、当日作った作品をオホーツク森林産業振興協会の主催するオホーツク児童木工作品コンクールに出品したところ、デザイン賞を受賞したという嬉しい報告をもらいました。「虫たちの戦い」と題された受賞作品は、カブトムシやクモを木の枝と松ぼっくりで作った力作。曲がった枝や節などをうまく生かし

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

### 最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

### バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

た、虫たちの力強さが伝わってくる作品でした。

枝や松ぼっくり、落ち葉などを使って親子で工作をする「冬休み親子木工体験」は毎年好評を頂いているイベントで、作品は冬休みの自由研究などにも使って頂いています。来年度も冬休み中の開催を予定しています。詳細はホームページ上でもお知らせする予定ですので、皆さんぜひご参加下さい。



投稿日 2007-03-16 | [リンク用URL](#)

2007-03-15

## エゾノバッコヤナギ

斜里の町はずれに生えるエゾノバッコヤナギ。近づいてみると、銀色に輝く毛に覆われた花芽が、皮を破ってひょっこり顔をのぞかせていました。手を伸ばしてさわってみると、フサフサでまるでビロードのような感触です。とても柔らかくて、これが樹木の一部だと思うと、なんだか不思議な気がしました。

エゾノバッコヤナギは山地や平地に生える落葉樹で、北海道や南千島などに分布しています。本州や北海道南西部には、この木と良く似たバッコヤナギがあります。4～5月、葉の着く前に花が咲くのが特徴で、私たちの生活に身近なところでは「まな板」の木としても有名です。



投稿日 2007-03-15 | [リンク用URL](#)

2007-03-13

## 海明け近し？

2月23日及び3月6日に最高気温が10度近くまで上がるなど、4月を思わせる陽気を感じた今日この頃。強い南風の影響もあり、流氷は融けながら遙か遠くに去ってしまいました。センター近くの丘から望むオホーツク海は青々としており、もはや冬の顔ではありません。本州からはもうすぐ桜開花の便りも聞こえてきそうです。知床ではまずは春一番に咲くキタコブシの花に注目しようと思います。



投稿日 2007-03-13 | [リンク用URL](#)

2007-03-06

## 知床で格闘技？



フレペの滝へ行くとコツツ、コツツ、カツツ、カツツとなにかがぶつかり合う乾いた音がこだましていました。聞き慣れない音なのでよく耳を澄ましてみると、遠くでエゾシカの雄が角を突き合わせて争っていました。3頭の雄が交代で、ぶつかり合ったり押したり引いたり息を荒げて鳴き声をあげている姿を遠巻きに見ていたのですが、何だか格闘技を見ているようでその迫力が伝わってきました。



投稿日 2007-03-06 | [リンク用URL](#)

2007-03-01

## キツツキ

トドマツの幹に、キツツキがあげたと思われる穴を見つけました。知床半島には、天然記念物・クマガラをはじめ、オオアカゲラ、アカゲラ、コゲラ、ヤマゲラなどのキツツキの仲間がいます。

さて、キツツキの仲間は木をつついて穴をあけ、ねぐらを作ったり幹の中にいる甲虫の幼虫などを食べたりしていますが、実はこの穴は地域の生態系にとって重要な存在です。

森林にはコウモリ、ムササビなど樹洞をすみかにするにもかわらず、自ら穴を作ることのできない動物たちがいます。そんな動物たちは、しばしばキツツキの作った穴をすみかとして利用しているといわれています。そのため、キツツキがいなくなれば同時にこれらの動物たちもすみかを失うことになり、やがてその地域から姿を消してしまうでしょう。

キツツキは、生態系の生物間相互作用で重要な役割を果たし、いなくなればその生態系の特色を大きく変えてしまう種、「キーストーン種」の代表であると考えられています。

こつこつ地道に木をつついて、自分の食べ物を手に入れるばかりか他の生き物にすみかまで提供してしまうキツツキたち。いっつもご苦労さまです。



投稿日 2007-03-01 | [リンク用URL](#)

# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2007年1月 | [メイン](#) | 2007年3月 »

2007-02-27

## エゾシカ之力強さに感動！

イベントの下見をする為にフレペの滝周辺へ行ってきました。この日は快晴で白銀の知床連山や流氷も見られました。フレペへ行くとエゾシカを見かける事が多いのですが、なにやら雪を掘りその中に頭を突っ込んでいました。何をしているのかよく見てみると雪の下にある枯れ草を食べているようでした。フレペの滝の断崖に続く急斜面を怖がる様子もなく必死に穴を掘り枯れ草を食べる姿に、知床の厳しい冬を超えようとするエゾシカ之力強さを感じました。



投稿日 2007-02-27 | [リンク用URL](#)

2007-02-23

## 厳冬期のなかの春？

2月の知床は流氷が接岸し寒さが一層厳しくなるのですが、今年の冬は例年より暖かい日が多いような気がします。そんな中イベントの下見へ行ったのですが、キタコブシの「花芽」（写真）を見つけました。花芽（かが）は将来花になる芽のことで、すでに次の春の準備をして知床の厳しい冬を乗り越えようとしているのです。花芽は白い毛に覆われて太陽の光を反射して輝いているように見えました。演歌の「北国の春」の歌詞にもある通り、コブシの花が咲くと北国にも本格的な春がやってきたと感じる春を告げる樹でもあります。知床はまだ厳冬期ですがコブシの花が咲く春が待ち遠しい気分になりました。



投稿日 2007-02-23 | [リンク用URL](#)

2007-02-22

## ケヤマハンノキの雄花

春の訪れをじっと待つ、ケヤマハンノキの雄花を見つけました。

ケヤマハンノキの雄花の穂は、4月、まだ葉が開く前に開き、風によって花粉を雌花に届けてもらいます。そのため、木の下の残雪が、花粉で黄色く染まっているのを見かけることがあります。ちなみに雌雄同株であるため、雌花も同じ枝について

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

ますが、小さくてあまり目立ちません。

ケヤマハンノキは空気中の窒素を固定する根粒菌と共生するため、痩せ地でも生きていくことができる木です。花が終わると少しずつ葉を開きはじめ、夏まで新しい葉を出し続けます。

春が来るまで、もう少し辛抱です。



投稿日 2007-02-22 | [リンク用URL](#)

2007-02-16

## 巧みな仕掛けに感動！

降り積もった雪を載せて重そうにしている・・・これは一体何でしょう？ これはホオノキの「種の入れ物」で長さが15cm程のあります。その中には小指の爪先程の赤い実が沢山詰まっています。この小さな実には糸が付いており、ぶら下がる仕掛けになっています。赤い目立つ実がぶら下がることで鳥達が実を見つけやすくなり、鳥に食べられ糞と共に排出されることで発芽がし易い状態になり種子が散布されます。何度かキツツキの仲間や野鳥がこの実をついばむ姿を見た事があります。糸でぶら下がるホオノキの赤い実を見たときはその巧みな仕掛けに感動しました。樹は様々な方法で種子を遠くまで運ぶ仕掛けをしています。羽根を付けて風に飛ばされたり、動物や昆虫に運んでもらったり、興味のある方は樹木の種がどのように遠くまで運ばれる仕掛けになっているのか調べてみるのもよいのではない



でしょうか？

投稿日 2007-02-16 | [リンク用URL](#)

2007-02-14

## 海一面の流氷です

今日の知床は、雲ひとつない快晴！オシンコシンの滝近くの高台からは、海一面の流氷と真っ白な知床連山の姿をはっきりと望むことができました。これぞ冬の知床という景色です。

ところが今夜から予報は大荒れです。昼過ぎから曇りはじめ、風もだんだんと強くなってきました。

こんな美しい風景も、少なくとも2、3日はおあずけでしょう。絵はがきなどではよく目にする流氷と青空の組み合わせですが、実際に見ることができる日は、思いのほかに少ないのです。

けれど時々しか見る事ができないからこそ、こんな風景と出会えたときの感動は大きいのではないのでしょうか。





投稿日 2007-02-14 | [リンク用URL](#)

2007-02-09

## 流氷接岸

ウトロでは水平線に流氷が見えてから、なかなか接岸しない日々が続いていましたが、ここに来てようやく接近してきました。当センターの森林環境情報システムの観測カメラにも流氷が写ってきています。→[知床ウォッチのコーナーはこちら](#)

### 第一管区海上保安本部の海水情報

(<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>) を見ても流氷本体がグッと寄ってきているようです。昨年は記録的に流氷の勢力が弱く、2月15日には海明けを迎えてしまいました。オホーツク海は流氷が訪れる南端に位置することから、地球環境の変化を見るバロメーターとも言われています。せめて平年並みの勢力で推移してほしいものですね（写真は当センターHP「知床ウォッチ」より）。



投稿日 2007-02-09 | [リンク用URL](#)

2007-02-06

## 犯人は誰だ？

雪の上に、長さ5センチほどのトドマツの小枝がたくさん落ちています。

枯れているわけでもないのにどうして？

通りがかりの誰かが、枝先を折ったのでしょうか？

それにしても、ずいぶんたくさん落ちています。

実はこれ、モモンガの仕業なのです。

夜行性であるモモンガは、日が沈んだ頃に寝ぐらを飛び出し、木から木へと飛び移りながら広葉樹の冬芽やトドマツの葉を食べています。折った枝を手を持って食べるのですが、全部は食べずに地面に落としてしまいます。そのため、モモンガの食事のあとには、食べ残しが落ちてるのです。

森の中で小枝が落ちているのを見かけたら、近くの樹洞木やキツツキの古巣の中ではモモンガがすやすやと眠っているかもしれません。



投稿日 2007-02-06 | [リンク用URL](#) | [コメント \(0\)](#)



# 知床森林センター

知床の森の今の姿をブログで紹介します。森林の不思議や役割に興味を持ってみませんか。

« 2006年12月 | [メイン](#) | 2007年2月 »

2007-01-30

## 北の国・森林づくり技術交流発表会で発表をしました

1月24～25日、北海道森林管理局（札幌）において平成18年度北の国・森林づくり技術交流発表会が開催されました。

当日は施業や調査、機械などの森林技術部門、イベントやボランティア、地域との関わりなどの森林ふれあい部門、そして高校生部門の3部門で27組の発表がありました。当センターも森林技術部門において「択伐跡地における林分変化の推移について」というタイトルで発表に参加しました。

発表の中身は、昭和61年にヘリコプター集材を行った択伐地での20年間におよぶ調査結果の報告です。択伐地に設けた3つの観察区において5年ごとのモニタリング調査を実施しており、今年は調査開始から20年目にあたる節目の年であるため、これまでの結果をまとめて報告することにしました。

過去20年の調査から、択伐を行った観察区内の材積は伐採間の状況に戻った、または戻りつつあるという結果が得られました。林分構成については観察区毎に異なる変化を示したため、各観察区の樹種構成等の違いが大きく関わっているのではないかと考えられました。また、ヘリコプター集材は単木の抜き切りであるため、林内の光環境の変化が小さく、陰樹の更新に有利にはたらくことが予想されました。しかし林分の変化には択伐だけではなく種々の要因が複雑に絡み合うため、本調査の結果からだけではわからないことも多いというのが正直なところでした。

人間にとっては決して短いとはいえ20年という月日も、もしかしたら森林にとっては一瞬のことなのかもしれません。林分の状態は今も刻々と変化を続けており、今後も息の長い調査を行う必要があることを強く感じています。

今回の発表では、幸いにも日本森林技術協会理事長賞をいただくことができました。これを励みに、今後も5年毎のモニタリング調査を継続するとともに、おりにふれて調査結果を皆様にご報告できればと思います。



調査地の様子（2006年）

投稿日 2007-01-30 | [リンク用URL](#) | [コメント](#) (0)

2007-01-22

## 霧氷

2009年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

最近の記事

知床らうすの森・川・海をつなぐ一日体験！

斜里町で来運・水の学校夏まつりに参加しました。

【知床】羅臼湖には可憐な高山植物が咲いていました。【快晴】

羅臼岳の登山シーズンスタート！

【知床】6/13ポンホロ沼でイベントを行いました【森林】

【6/6】センタールサフィールドハウスの開館式に出席

【知床】自動カメラで野生生物調査【自然】

斜里町植樹祭

知床森林センターHP移転のお知らせ

【知床】雨上がり、幻のポンホロ沼で爽快！森林浴

バックナンバー

2009年11月

2009年8月

2009年7月

2009年6月

2009年5月

2009年3月

2009年2月

2009年1月

2008年12月

2008年11月

もっと読む

[プロフィール](#)

寒い日が続いています。最近の朝の平均気温は氷点下15～18度位です。

寒い朝、雪が降ったわけではないのに、木々が真っ白に化粧をしていることがあります。

この正体は霧氷です。

霧氷とは、大気中の水蒸気が樹木にぶつかって凍り付いたもの。川沿いなどで、いくつかの気象条件が重なった時だけに見ることのできる自然現象です。

今朝は斜里市街の川沿いでも、たくさんの霧氷を身にまとった木々を見ることができました。

朝日を受けてキラキラと白く輝く木々の姿を見ていると、思わず時間が経つのも忘れてしまいます。

知床は冬真っ盛り。もうすぐ流氷がやって来ます。



投稿日 2007-01-22 | リンク用URL | コメント (0)

2007-01-12

## 冬の森にピエロ？

冬の森を散策していると、なにやら顔らしきものが・・・昔、人面魚なるものが世の中を騒がせていたのですが、この顔に見える部分は一体・・・これはキハダという木の葉が落ちた痕なのです。目と口に見える部分は維管束痕（いかんそくこん）といって木の葉へ水分や栄養分を運ぶ管だった場所です。

この顔をじっと見ているとピエロのようにも見えます。知床の冬の森は既に一面の銀世界で夏に比べると静まりかえっているようにも見えますが、よく樹木を観察してみると小さな発見が沢山あるかもしれません。冬の静かな森でじっくりと自然観察をしてみてもいいですか？



投稿日 2007-01-12 | リンク用URL

2007-01-11

## 冬の間も

最高気温が氷点下の真冬日が続くオホーツク海側ですが、今週一杯はシバれも緩みそうにありません。こんな中でも森の中では動物たちが活動しています。森の中に散らばっていたエゾシカたちも冬の間は雪の少ない場所に集まってきます。そのため、海沿いの国道ふちでエゾシカの群れを見かけることも多くなってきました。道路は圧雪・アイスバーンとなっています。道路への飛び出しもあり得ますので知床ではくれぐれも余裕を



持った安全運転をお願いします。



投稿日 2007-01-11 | [リンク用URL](#)

2007-01-09

## 嵐の後に

おとそ気分もさめやらぬ3連休の日本列島を襲った爆弾低気圧も抜け、今日の斜里は風は少し残るものの青空の見える天気となりました。オホーツク海側の積もるところでは80cm、といわれていましたが、斜里市街に関しては20cmちょっととそれほどでもない降雪でまずは一安心です。斜里市街は例年と比べ雪が少ない印象ですが、より半島寄りのウトロでは60~70cmの積雪深となっており、一方、知床連山を挟んだ根室海峡側の羅臼では数cmとかなり顕著な違いが見られます。数十kmほど離れるだけで気象状況が大きく変わるのも、地形が急峻で変化の激しい知床の特徴ですね。(参考: 気象庁のアメダス<http://www.jma.go.jp/jp/amedas/202.html?elementCode=4>)

昨年末の季節外れの雨といい、たて続いた爆弾低気圧といい、例年ならあまり見られない現象が続くのは若干気がかりです。せめて流氷だけは平年並みに来てほしいと思う年明けでした。今年も知床森林センターを宜しく願っています。



投稿日 2007-01-09 | [リンク用URL](#)